国語採点基準

(総点100点)

(注意) 1 この配点は、標準的な配点を示したものである。
2 定められた答えの欄に答えが書かれていないときは、点を与えない。
3 指示された答えと違う表現で答えの欄に記入されていても、正答と認められるものには、点を与える。
4 定められた数より多く答えたときは、点を与えない。
5 採点上の細部については、各学校の判断によるものとする。

問題	正答	配点
1		30
1		
1	(1)	はず(む)	2
	(2)	こくふく	2
	(3)	やわ(らかな)	2
	(4)	せば(まる)	2
	(5)	えんかつ	2
2	(1)	貸(す)	2
	(2)	往復	2
	(3)	旗	2
	(4)	提供	2
	(5)	勤勉	2
3		イ	2
4		ウ	2
5		イ	2
6		ア	2
7		非	2
2			10
1		いわく	2
2		(例)梁の帝が白雁を射ようとしていること。	2
3		ア	2
4		ウ	2
5		エ	2
3			20
1		イ	2
2		ア	2
3		(例)感情を分類し、自分と世界を関係づけ、その関係を理解させる役割。	4
4		ことばが一つの社会に共有されているとき	4
5		ア	4
6		ウ	4
4			20
1		イ	2
2		(例)父親の店を開くために『獄記』をもらおうとする自分の意図を、父親が理解しないから。	4
3		ウ	3
4		(例)幻の本を発見し、本の価値を理解していながら落ち着いている瀬名垣に感心したから。	4
5		エ	3
6		エ	4
5			20

(評価の観点)
1 形式 目的に応じた適切な叙述であるか。字数が条件に合っているか。
2 内容 テーマについて自分の考えとその理由が明確に表現されているか。話題が適切で説得力があるか。
3 表現・表記 文体に統一性や妥当性があるか。主述関係や係り受けなどが適切であるか。語句が適切に使用されているか。誤字・脱字がないか。
※ これらの項目に照らし、各学校の実態に即して総合的に評価するものとする。

◇M19(735—54)